

令和2年度 宇都宮市食育推進会議 議事録

■ 日 時 令和2年8月25日（火）午後3時30分から午後4時40分

■ 場 所 宇都宮市役所 14大会議室

■ 出席者

1 委 員（14名）

保坂栄次委員，金崎芙美子委員，大森玲子委員，大房一裕委員，長谷川英一委員，橋本真里委員，岩本眞砂枝委員，福田治久委員，増淵祥子委員，塩澤美枝子委員，高橋友久委員，檜原貞亮委員，荒川昭子委員，坂本理江子委員（委員名簿順）

※ 欠席委員（6名）：遠藤秀樹委員，中山玲子委員，神山賀代子委員，中野智之委員，半田俊夫委員，増淵静枝委員

2 事務局（12名）

【保健福祉部】 部長，次長（保健衛生担当），保健所長

【健康増進課】 課長，保健センター所長，課長補佐，企画グループ係長，健康づくりグループ係長，職員3名

【学校健康課】 職員1名

■ 公開・非公開の別 公開

■ 傍聴者・記者 1名

■ 会議経過

1 開 会

- ・ 委員の過半数が出席しており，本会議は有効であることを報告
- ・ 「附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき，会議公開について説明，委員了承
- ・ 所定の手続による事前の周知の結果，傍聴希望者及び記者は1名

2 あいさつ【省略】

3 委員紹介【省略】

4 会長・副会長選出

- ・ 委員改選に伴い、新たに会長及び副会長を選出
- ・ 宇都宮市食育推進会議規則に基づく委員の互選により、会長に大森玲子委員、副会長に金崎芙美子委員を選出
- ・ 会長及び副会長よりあいさつ

5 議事

- (1) 「第3次宇都宮市食育推進計画」の取組状況について
- (2) 「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」の策定について
事務局案通り承認
- (3) 「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」の策定に係る意識調査について
事務局案通り承認

6 委員からの主な意見・質問等（要旨）

(1) 協議事項

「第3次宇都宮市食育推進計画」の取組状況について

● 委員

新型コロナウイルス感染症の影響で、働く世代において、在宅勤務などを行っている方が増加しているが、そのような状況下で食生活のバランスが崩れ、肥満や栄養失調の方が増えていると耳にする。在宅勤務をしている市民にも対応できるような施策が必要ではないか。

○ 事務局

現状では出前講座等、対面での普及啓発が難しいことからリーフレットを作成し、市のホームページや発信ツールを活用することで、在宅勤務の市民も含めて、多くの市民に情報を随時発信していきたいと考えている。

● 委員

成人期の歯周病対策を強化するため、宇都宮市歯科医師会と健康増進課で協力し「口腔の健康セルフチェックシート」というリーフレットを作成したので、機会があれば各種ツールを利用してPRしていきたいと考えている。

○ 事務局

成人期の歯周病が増加していく中、歯周病が全身の健康に影響するということを考え、健康づくりの入口として口の健康が重要だと考え作成したものである。また、歯周病だけでなく、近年注目をされている口腔がんについても併せて啓発をする形で様々な事業において啓発媒体として利用したいと考えている。市ホームページにも掲載されている

ので普及啓発にご協力いただきたい。

- 会長

各委員においても、普及啓発に協力いただきたい。

(2) 協議事項

「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」の策定について
質疑なし

(3) 協議事項

「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」の策定に係る意識調査について

- 委員

市から情報発信をしているのはわかるが、市民が相談をするための窓口が分からない。実際に相談するような窓口はあるのか。また、窓口があるとするなら、それをアピールしているのか。市民の意見などをどのように吸い上げているのかが分からない。

- 事務局

市民の現状や意見については、意識調査における各種設問への回答や自由意見の記述などで把握を行っている。また、食に関する市民からの意見を受け付ける窓口として、健康増進課のほかに、出前講座などにおいても、参加した市民から意見をいただくこともあり、これらの意見は、随時事業や計画に反映して行っていきたいと考えている。

- 委員

今まで挙げられた市民からの意見をまとめたデータはあるのか。

- 事務局

第3次宇都宮食育推進計画を策定する際の意識調査をまとめたものはある。その他に食育フェアなどのイベントの際にもアンケートを収集しそれを集計したものがある。

- 委員

収集した意見は、次回の意識調査に反映する予定なのか。

- 事務局

食育に関する意識調査については、前回調査の指標と比較するために調査を行う必要もあるため、市民からの意見を収集すると共に、新たな課題を把握し、事業に結びつけるような設問を、国の動向を注視しながら設定する。

● 会長

課題を抱えた方が解決するための窓口はどこかという質問に関しては、出前講座、各種イベントなどを通じて意見を吸い上げているということでしょうか。

○ 事務局

その通りである。

● 委員

次期計画において、アフターコロナを考えていかなければならない。在宅勤務の増加や惣菜などを買って家で食べる人の増加といった生活の変化については、無視することができないと思う。今回の意識調査では、国の方針に則り、同様な設問を設定するだけでなく、現状の課題について設問を設定するべきではないか。食育フェアや出前講座の開催が難しい中、オンラインを活用した食に関する情報発信などを次期計画に盛り込んでほしい。

○ 事務局

現在、国で策定中の第4次食育推進基本計画において、新型コロナウイルス感染症への対応として、新しい生活様式に則した食育の推進が盛り込まれる予定である。このような国の動向も注視しながら、本市における次期計画の策定を進めていきたい。

● 委員

令和2年度の食育に関する意識調査の中に新しい項目が複数追加されている。前回調査において出た課題をさらに掘り下げるために追加されたと推測しているが、追加理由を具体的に説明していただきたい。

○ 事務局

新しく設定した設問については、既存の設問をさらに掘り下げるため、理由を聞く設問を追加したほか、無関心層への情報発信や野菜の摂取、減塩については、今後、本市がさらなる食育の推進にあたって注力したいと考えているため、新たに設問を設定したところである。

(4) その他

● 委員

私の住んでいる地域での食育推進として、月に1度地区市民センターなどで1人暮らしの高齢者のための食事会を開催している。他の地域ではどのような食育推進活動を行っているか知りたい。

● 委員

食生活改善推進員の活動として、地域単位で年に数回、食育のための調理実習や講演会等の活動を行っている。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動ができない状況が続いているため、このような状況下で今後活動を継続していくに当たり、参考意見をいただければありがたい。

○ 事務局

食生活改善推進の活動として、食を通じた健康づくりについては、調理実習以外に何ができるか検討していきたい。

● 委員

動画サイトなどのオンラインやリーフレット等を活用した活動を検討していただきたい。

● 会長

今後の活動について、事務局及び各委員が意見を出し合って進めていければと思う。